



水上消防団  
第2分団

石原 克彦さん

執筆者 水上消防団第2分団 分団長 岡田 忠義

わが水上消防団第2分団は、神戸港摩耶埠頭地区が活動範囲です。摩耶埠頭は、神戸港最初のコンテナ埠頭が設置されるなど、震災前は中堅埠頭として活躍していました。震災後は再開発によってライナーバースや中古車ストックヤード、大規模乳製品工場が新設されたほか、屋根付きのフットサルコートも完成し、若者たちでにぎわっています。

わが水上消防団第2分団は、警備会社の従業員のみで結成されてから40年超にわたり、摩耶埠頭地域の防火・防災活動にまい進してきました。

## 摩耶埠頭の守り 第2分団

この第2分団のヒーローといえば、身長175cm・体重約100kg？まるで中型ポンプのような石原克彦部長37才です。平成9年3月の入団以来、平均年令の高い第2分団にあっては、若手のホープとして常に先頭を走り続けておられます。

平成15年10月の神戸市消防団小型ポンプ操法大会では、自慢の体力を生かし、4番員（ポンプ担当）として出場。上位入賞を目指し、厳しい練習を重ねましたが、それなりの成績に終わり、残念！ 年末特別警戒はもちろん、出初式、夏期研修など、何事にも積極的に参加され、水上消防団の中でも、覚えやすい体形と愛きょうのある笑顔で、有名人となっています。何より「水上消防団通信」第4号の「団員からのたより」に投稿し、顔写真が掲載されたことが「第2分団石原ここにあり！」に拍

車をかけたようです。

会社でも「警備員指導教育責任者」に選任され、警備員の教育に消火器の種類・使用方法や



心肺蘇生法等を取り入れ「救急車が来るまで」の知識と技術を教えておられます。また、剣道有段者として自慢の体力を生かし？ 政府の「少子化対策」を先取りして、3人の子どもさんをもうけておられます。そんな石原部長の携帯電話の待ち受け画面は、男の子二人の下の愛娘・菜恵ちゃん！（ベジタリアン？）その菜恵ちゃんをはじめ、ご家族はもちろん、神戸市民の安心と安全を守るために、防火・防災になお一層努力され、第2分団のヒーローから水上消防団のヒーロー、やがては神戸市消防団のヒーローへと成長されるように、期待しています。